

日本糖尿病学会「糖尿病診療ガイドライン2019」

歯周治療は血糖コントロールの改善に有効か？

「2型糖尿病では歯周治療により

血糖が改善する可能性があり、強く推奨される」

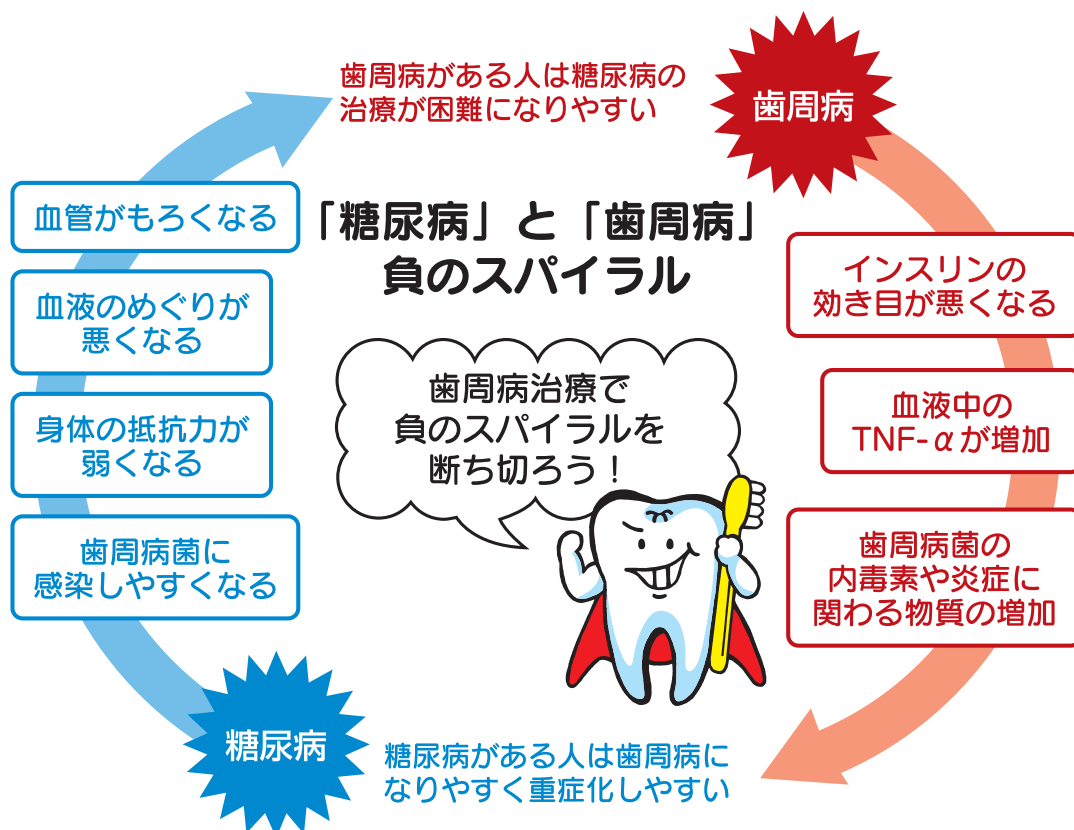
推奨グレードA

糖尿病と歯周病

～ 互いに深く関連して進行する病気です ～

歯周病は 糖尿病の第6の合併症です

糖尿病の人は、そうでない人に比べて歯肉炎や歯周炎にかかっている人が多いという疫学調査が複数報告されています。さらに最近、歯周病になると糖尿病の症状が悪化するという逆の関係も明らかになりました。つまり、歯周病と糖尿病は、相互に悪影響を及ぼしあっていると考えられるようになってきました。歯周病治療で糖尿病も改善することも分かっています。

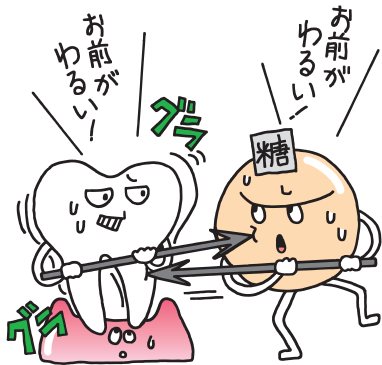


静岡県歯科医師会

歯周病は糖尿病を悪化させる一因です

糖尿病患者さんは、歯周病原菌に対する生体の免疫細胞の機能低下やコラーゲン代謝異常がおこり、それが歯周病を悪化させる一因といわれています。

最近では、歯周病由来の炎症性のサイトカインが糖尿病を悪化させるとも報告されており、更に詳しく研究が進められています。

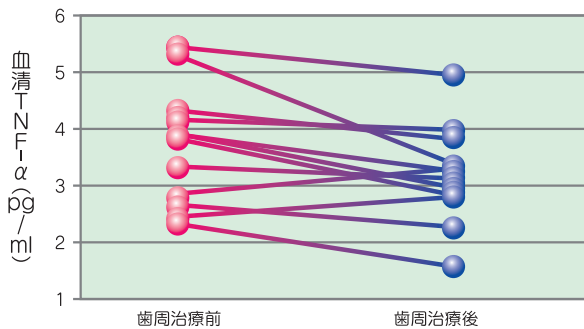


〈歯周病で血糖値が上がる理由〉

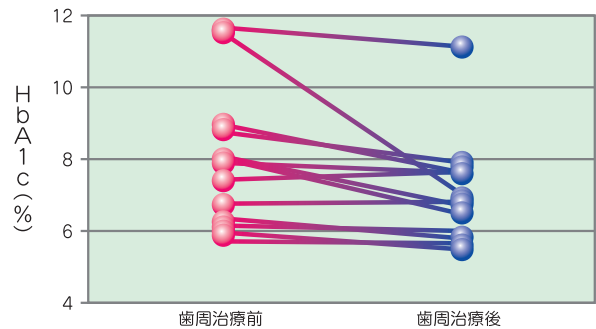
1. 感染症→サイトカイン→インスリン抵抗性上昇
2. 歯周病が進行→良くかめない 柔らかいものを食べる
→柔らかいものはポケットのプラーク↑
……食後血糖値の急激な上昇
3. 同じ生活習慣病である→問題のある生活習慣を営んでいること
……間食 運動不足

歯周病治療で TNF- α 、HbA1cが低下

2型糖尿病患者(13名)に対して歯周治療を1ヶ月実施し、治療前後でポケット内の細菌数、血中TNF- α 、HbA1cを比較しました。その結果、いずれの数値も治療後に有意に低下しました。これは、歯周治療によってポケット内の細菌が減少して、歯周組織の炎症が改善された結果、TNF- α の放出が抑制され、その結果インスリン抵抗性改善によりHbA1cが改善されたことを示しています。



歯周治療前後におけるTNF- α の変化



歯周治療前後におけるHbA1-cの変化

(Iwamoto Y et al, J Periodontal, 72:774-8, 2001 より引用)

歯周病が 全身に与える影響……



糖尿病に焦点を当ててみると、歯周病の影響は、肺炎や心臓病、リウマチなどにも非常に関係が深いといわれています。妊婦の方に歯周病があると、低体重出産や早産が起こるといった報告もあり、全身と歯周病の関係は、世界中の多くの文献で取り上げられています。

このように、口の健康だけでなく全身の健康を維持するために口腔ケアはとても大切です。